

☆中 東

合織原料

Indorama、中東にPX工場を建設計画

大手ポリエステルメーカーの Indorama Ventures Public Company Limited (IVL) は、中東の国有石油企業と提携し、中東にパラキシレン (PX) 工場を建設する計画を明らかにした。同社によると、交渉が初期段階であることから詳細は非公表としている。但し、PX 工場以外に石油精製工場、芳香族工場などを併設する計画であるという。

☆オーストリア

環境

Lenzing、2012 年度サステナビリティ・レポートを発表

オーストリアのセルロース系繊維メーカーの大手である Lenzing によると、同社はこの程、初となる GRI (Global Reporting Initiative) ガイドラインに準拠したサステナビリティ・レポートを公表した。このレポートは Lenzing の中核ビジネスである繊維に焦点を当てており、繊維売上でグループ全体の 90% 強を占める。今回のレポートは、GRI が要求する適用レベル B を満たしており、2011 年と 2012 年の財務データに基づいて作成された。

昨年度、Lenzing は、グループ内のサステナビリティに関する業務のシステム化を推進することで、環境、経済、社会面でのサステナビリティを計測するための主要指標のリストを拡大し、レポートの透明性の向上に取り組んだ。

2012 年 11 月以降、Lenzing は、Brundtland の伝統的な計測モデルを採用しており、環境への責任、人々への責任、経済への責任、という 3 つの観点からサステナビリティを考慮している。この計測モデルは、EU エコラベルなどの様々な国際標準により定義された厳格な基準値に基づくものである。今後、この環境標準は、Lenzing の全ての工場、地区で適用され、同社の環境保護面の方向性を左右する尺度となりうる。

更に、レポートには外部関係者による研究報告も含まれており、それによると、Lenzing の企業活動と国内の生産活動の関係性が指摘されている。2011 年、Lenzing の 7 つの製造拠点における操業や投資活動により GDP は 9.3 億ユーロ上昇、国民所得は 4 億ユーロ増加し、更に、8,000 以上の雇用を創出して雇用や所得の安定に貢献し、製造国で付加価値を生み出すことに成功したという。

Lenzing は市場のリーダーとして、成熟した企業文化、長期的なパートナーシップ、全ての製造拠点での卓越したレベルが特徴である。今回

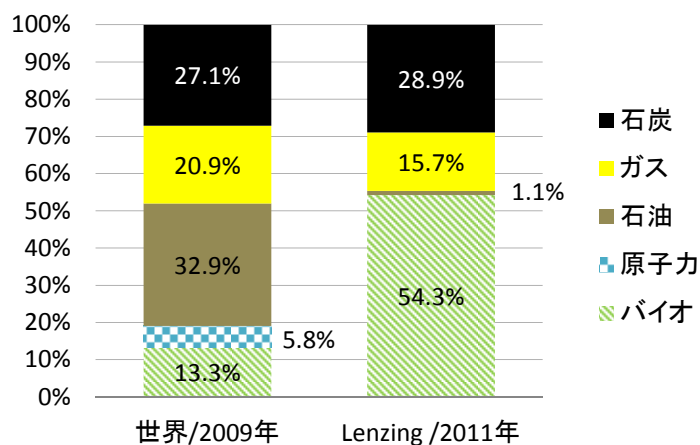
のレポートは、同社のサステナビリティが短期的な利潤追求ではなく、長期間なパフォーマンスを追及した結果であり、近年の目覚ましい成長ぶりは Lenzing が 3 つの側面からサステナビリティに取り組んだ証である、としている。

■ 製造拠点

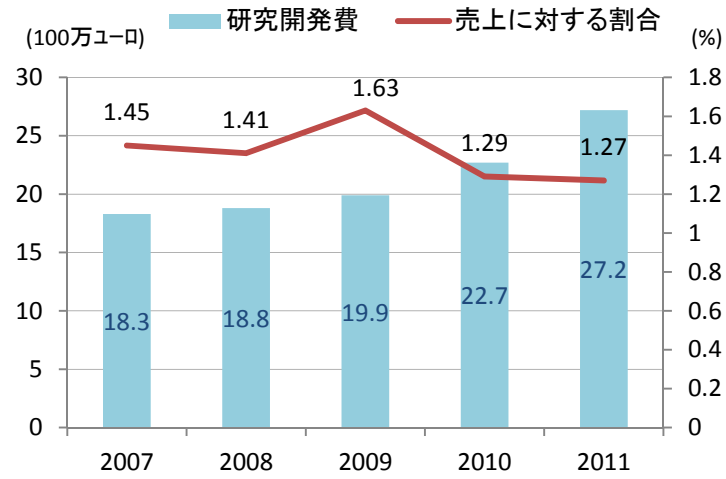
生産品種別の製造拠点と設備能力(2012年)

品種	拠点	設備能力(トン)
レーヨンS		732,000
	オーストリア/Lenzing	252,000
	インド/Purwakarta	320,000
	中国/南京	160,000
	インド/Patalganga	(建設予定)
TENCEL		155,000
	米/Mobile	50,000
	英/Grimsy	40,000
	オーストリア/Heiligenkreuz	65,000
	オーストリア/Lenzing	(建設中)
セルロース系		687,000
	オーストリア/Lenzing	(溶解パルプ) 290,000
	チェコ/Paskov	(溶解パルプ) 117,000 (紙パルプ) 280,000
計		1,574,000

■ 世界とのエネルギー源比較



■ 研究開発費用と売上に占める割合



(出所：全て Lenzing)

以上